

# JODA YEAR BOOK 2018





2017 49th JAPAN OPTIMIST SAILING CHAMPIONSHIP © adamo aono



2017 49th JAPAN OPTIMIST SAILING CHAMPIONSHIP © adamo aono



2017 49th JAPAN OPTIMIST SAILING CHAMPIONSHIP © adamo aono



2017 49th JAPAN OPTIMIST SAILING CHAMPIONSHIP © adamo aono



2017 49th JAPAN OPTIMIST SAILING CHAMPIONSHIP © adamo aono



2017 49th JAPAN OPTIMIST SAILING CHAMPIONSHIP © adamo aono



2017 49th JAPAN OPTIMIST SAILING CHAMPIONSHIP © adamo aono



2017 49th JAPAN OPTIMIST SAILING CHAMPIONSHIP © adamo aono



2017 49th JAPAN OPTIMIST SAILING CHAMPIONSHIP © adamo aono



2017 49th JAPAN OPTIMIST SAILING CHAMPIONSHIP © adamo aono



2017 49th JAPAN OPTIMIST SAILING CHAMPIONSHIP © adamo aono



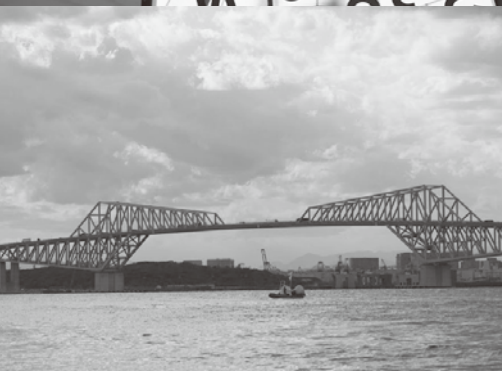
2017 49th JAPAN OPTIMIST SAILING CHAMPIONSHIP © adamo aono



2017 49th JAPAN OPTIMIST SAILING CHAMPIONSHIP © adamo aono



2017 49th JAPAN OPTIMIST SAILING CHAMPIONSHIP © adamo aono



## 50年の歩み

日本オプティミストディンギー協会

理事長 濱本 徹夫

全国のオプティミストセーラーの皆さん、冬の寒さを感じるころになりましたが、セーリングにはいい風の季節となり、引き続きホームコースの海に出て練習を積んでいることと思います。

皆様方におかれましては、日頃よりジュニアセーラーへの暖かいご声援また、日本OP協会の活動へのご理解とご支援のほど、誠にありがとうございます。

本年は、日本OP協会設立50周年と第50回全日本オプティミスト級セーリング選手権大会を迎えた記念すべき年となりました。

50年前に江の島の海にOPが浮かべられ、多方面の方々の支援により、今日まで青少年育成スポーツとして発展してきました。2020年には東京オリンピック競技大会セーリング競技が開催され、江の島の海にはさらにたくさんのヨットが浮かぶことと思います。

日本OP協会はこの歴史を振り返り、協会設立趣意書にあります、「強い体力と困難な時でもこれ乗り越える根性を養い、あわせて海洋日本の恵まれた自然に親しみ、少年たちが安全にして基本的なヨット技術が修得できるような少年用ヨット（オプティミスト）」の普及と強化の一助となる活動を、今後も皆様と共に行ってまいります。

本年も各地で開催された大会では、日頃の練習成果が発揮され、熱戦が展開されたことでしょう。その日頃の練習と熱戦を後ろで支えていただいている指導者や保護者、レース運営の皆様のご尽力があればこそ、選手は安心して楽しくセーリングができる環境が整います。

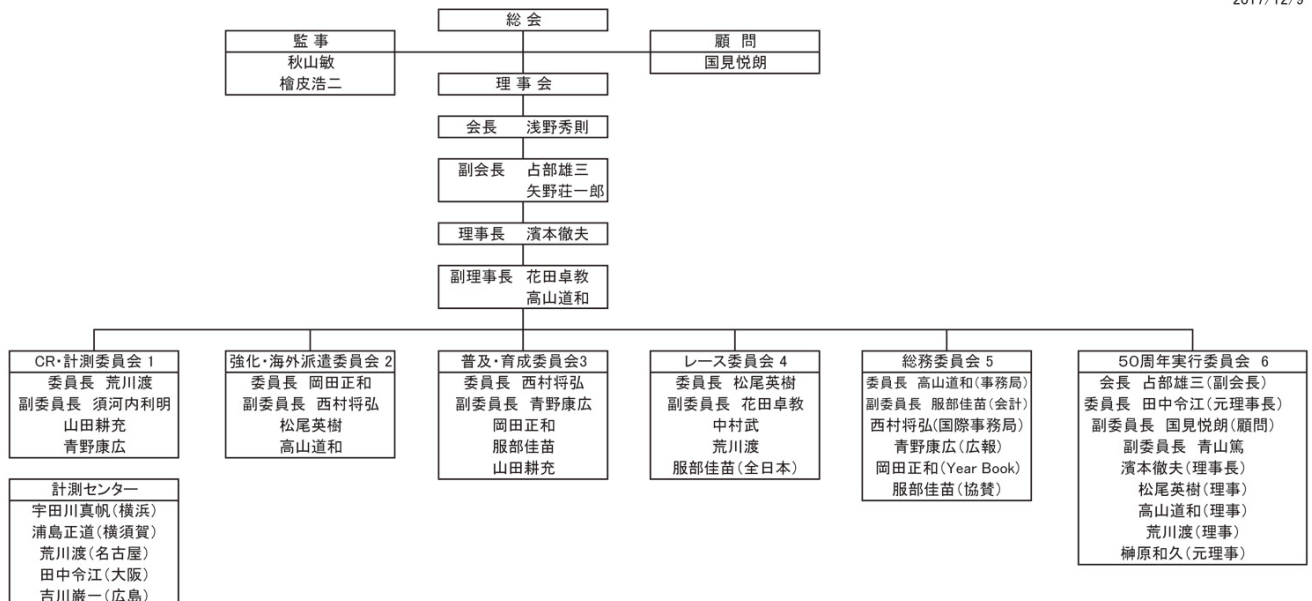
選手がそのことに気付くのは少し先かもしれませんが、セーリング技術だけでなく人間的な成長を感じることができるのもオプティミストの不思議な魅力です。

全国でセーリングを楽しむジュニアが増加し、未来のOPセーラーへと歴史が続いていきますよう、皆様と次の50年へ向かって進んで参りたいと存じます。

最後となりますが、オプティミストに関わります全ての皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げ挨拶といたします。

2018年(平成30年) 日本オプティミストディンギー協会 組織図(案)

2017/12/9



# OPTIMIST WORLD CHAMPIONSHIP 2018

2018年8月27日～9月6日

監督：池田 晴紀  
北原まつ子

開催地 キプロス共和国 リマソル  
会場 Famagusta Nautical Club  
参加国 57ヶ国 264名

## 【出場選手】

池田海人

(JPN3211 江の島ヨットクラブジュニア 中3)

北原頌子

(JPN3389 江の島ヨットクラブジュニア 中2)

嶋倉照晃

(JPN3110 真野浜セーリングクラブ 中3)

黒田研一郎

(JPN3381 江の島ヨットクラブ 中3)

磯邊杏心

(JPN3270 B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ 中3)

2018年の世界選手権は、東地中海に位置するキプロス島、リマソルにて行われました。

日本の夏休み期間中の開催だったこともあり、コンディション作りを目的としてプレ大会からの参加をすることとしました。

## 【20 日出発】

8月20日に羽田を出発し、18時間をかけて時差6時



出艇前記念撮影

間のキプロスに到着。8月中旬のキプロスは夏の地中海気候で、日中は30℃以上となくなりましたが、乾燥していて雨も降ることもなく連日青空の広がる夏らしいとても気持ちの良いお天気でした。大会会場となったFamagusta Nautical Club はリゾート感溢れるクラブで出艇は砂浜。周りはビーチリゾートとなっていて、海水浴を楽しむ人や周辺の施設等も不自由なく過ごすことができました。

到着日は周辺の散策などしてゆっくりと過ごし、翌日にはチャーター艇手続きなどを済ませて、8月22日～25日のプレ大会に参加をしました。(24か国130人程度の選手が参加)

プレ大会期間中は毎日11時を過ぎるとシーブリーズが入り始め、風は10ノット200～230°と安定した風が吹き本番前の良い練習になったと思います。

そして大会期間の始まる前日はオフとし、観光へ出発しリマソルの街中を散策し、日本と違った環境を体験する事が出来ました。

## 【27日 公式到着日 開会式】

午前中は海上練習をし、午後から大会計測を受け、白石潤一郎コーチと池田父が日本から到着、出発から帯同していた嶋倉父が交代で夕方帰国しました。翌日は、朝から200°の風が入り11時に出艇。白石コーチとブラジルチームのコーチがスナイプの選手同士で久しぶりの再会があり、ブラジルチームと合同練習することができました。再会を喜ぶ二人のその様子を羨ましそうに見ていた選手達は、白石コーチが「色々な国の選手達と友達になっておいで」と言った言葉が心に残ったようです。

夕方からは、オープニングセレモニーの会場リマソルマリーナへ、大変美しい高級リゾートハーバーで、キプロスの民族音楽とともに、57か国の国旗が舞い、花火も上がる盛大なオープニングセレモニーが行われました。水圧で空を飛ぶフライボードが披露されたり、各国の選手と記念写真を撮ったり、選手同士の嬉しい再会もあり、楽しい時間を過ごすことができました。

## 【28日～30日 予選シリーズ】

いよいよ、3日間の予定で予選シリーズが始まります。

いつも通り、朝11時位まで風が弱く、その後次第に10ノット近くまでなり、D旗掲揚、4フリートが順に出艇し、初日は2レースを行いました。

その後の予選シリーズは、連日朝は風が弱く、午後12時、13時くらいまでシーブリーズが入るのを待って出艇をし、各日2レースずつ行い、予選シリーズは全6レースで終了となりました。

毎日レースが終わると送迎バスや路線バスなどを使ってホテルまで帰りました。ホテルでの食事はビュッフェスタイルの食事でした。今回の遠征では、出発前にキプロスの話を飯島さんに伺うことができ、遠征先での日本食の必要性を伺い、自炊するために炊飯器をお借りし、毎朝選手達が自分達で手作りおにぎりを作り、海上へ持って行きました。毎日美味しいおにぎりを食べることができ、選手が体調を崩すことなく過ごせたことは、何よりでした。

## 【1日～2日 チームレース】

そして、予選シリーズと決勝シリーズの合間の、9月1～2日はチームレースが行われました。前夜まで選手達は自ら意見を出し合い、チームワークを発揮して作戦会議を行いました。フリートレースとは違うチームレース。選手達の意気込みとその姿はとても頼もしく見えました。結果は残念ながらオーストラリア、ハンガリーに連敗し、予選敗退。スタートから抑えられてしまい、悔しい思いの中、色々な事を学んでくれたと思います。

## 【チームレースの結果】

- 1位 THA
- 2位 ITA
- 3位 ESP

チームレースは2日間構成とされていたので、予選敗退の為、2日目はオフ日となりました。明後日からの決勝シリーズへ向け、気持ちを切り替え、リマソルの古い町並みや遺跡を見に行ったり、プールに入ったりとオフを満喫したのではないかと思います。

## 【3日～5日】

キプロスへ来て14日目。決勝シリーズを迎えまし

た。今回は残念ながら、ゴールドフリートに残った選手はいませんでした。プレ大会では風がありましたが、決勝シリーズでは風は弱く、陸待機が長くなりました。待ち時間をどのようにリラックスして過ごすか、オンとオフの切り替えも大切な課題であったように思います。各国の選手達と同様に海水浴をしたり、トランプをして過ごしたり、Tシャツの交換やメッセージなどのサインをしたりと交流などして過ごしました。そしてこの日は15時30分D旗が上がり、出艇をしていきました。

決勝シリーズ2日目、3日目も陸上待機からのスタートとなり、シリーズで5レース消化、全11レースで終了となりました。クロージングセレモニーは、Famagusta Nautical Club前の砂浜に舞台がセットされ行われ、2018年世界選手権は幕を閉じました。

今回の結果は全員にとって満足のいくものではありませんでしたが、選手は今持てる全ての力を出し切ったと思います。今回の遠征は20日間という長期にわたるものでしたが、彼らのセーリング人生でとても貴重な時間を過ごすことができたのではないかと思います。

応援して下さった全国の皆様、選手達をこれまで育てて下さった各クラブの皆様、選手達に最善のサポートをして下さった家族の皆様、ありがとうございました。この悔しさをバネに海人、照晃、研一郎、壱心は、全日本大会でOPを卒業し、次のステップへ、頌子は悔しい思いをして見ていた閉会式を次は自分が輝ける場所にするため頑張っていくでしょう。長きにわたり、選手達に寄り添いご指導下さった白石コーチありがとうございました。そし



ブラジルチームと記念撮影

てJODA の皆様、現地で助けて頂いた花田さん、宇田川さんありがとうございました。このような機会を与えて頂き、サポーター一同心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

【最終成績】

頌子	Silver	40 位
海人	Bronze	42 位
壺心	Bronze	66 位
研一郎	Emerald	5 位
照晃	Emerald	16 位



おにぎり作り



記念撮影



## 2018 Optimist European Championship Scheveningen, The Netherlands (スヘフェニンゲン、オランダ)

2018年6月23日～30日

コーチ：鷺尾 礼弁

### 【参加選手】

鷺尾 青 (JPN3357 江の島ヨットクラブジュニア)  
濱田登羽 (JPN3330 北九州ジュニアヨットクラブ)  
岡田爽良 (JPN3335 藤沢市青少年セーリングクラブ)  
葉山カトル (JPN3382 横浜ジュニアヨットクラブ)

参加国数：45カ国

参加艇数：264艇 (男子150艇、女子114艇)

2018年のヨーロッパ選手権はオランダ、ハーグ近郊、北海に面した港町スヘフェニンゲンにある National Top Sport Center Sailingを会場として開催された。スヘフェニンゲンの最寄り空港はアムステルダムスキポール国際空港で、そこから車で約1時間。日本からは成田からの直行便(約12時間)を利用したため、トランジットや荷物をなくす心配もなく移動は順調であった。

日本チームは登羽、爽良、カトルが6月22日に現地入り、公式宿泊施設にチェックイン。ここは巨大な公園の中にバンガローが点在しており、各国チームはそれぞれバンガローを割り当てられて宿泊。朝夕の食事は公園中央にある巨大テントの中でビュッフェタイプの食事をする方式だった。宿舎からハーバーまでは大型バスが何台も送迎にあっていた。

6月23日、早速チャーター艇を受け取り、計測に臨んだ。計測では日本から持ち込んだセールのパテンポケットのリーチ側パッチについて、ヨーロッパの計測員との間でルールに対する見解の相違から一部パッチを取り除く修正を求められ対応したが、それ以外は特に問題はなかった。その後は早速、今回コーチボートをシェアするベルギーチームと海上練習。米国チーム他も加わってきて、マークを打つてのコース練習を行った。

気候は、到着日は非常に寒かったが、翌日からはほぼ晴天に恵まれた。最高は27度程度まで上がる日

もあり、乾燥した、強い日差しのヨーロッパの夏らしい天候だったが、朝晩は10度近くまで下がり、海上ではウェットスーツにパドジャケが基本であった。陸上でも昼はTシャツ、朝晩はフリースを着るといった、1日の中で寒暖の差が大きかったが、幸い体調を大きく崩した選手はいなかった。この日、1日遅れで青が到着。4名全員がそろった。

6月24日、朝から艇を整備し、昼からは開会式。国旗を掲げ、チームユニフォームに身を包んだ各国選手264名がパレードする様は壮観であった。この日Opti、コーチボート含めて出艇は禁止。というのはスヘフェニンゲンは世界一周レース「ボルボオーシャンレース」の最終11レグのフィニッシュ地点であり、この日夕刻はトップ艇のフィニッシュが見込まれており、3檣マストのトールシップから小さなRIBまでおそらく100艇近い大小様々な船艇が港外に出て観戦するような状況で、海洋国家オランダを強く実感させられた。我々日本チームを含む各国選手もボルボオーシャンレースのハーバーに向かい、ものすごい人波の中ハーバーバックしてくるトップ艇を待った。トップフィニッシュを飾り、総合優勝も決めて最初にスヘフェニンゲン港に姿を見せたのはチーム東風でした！この盛り上がりはOPへの関心も高めていて、オランダのテレビ局が我々日本チームの取材にも来て、チーム代表して爽良が英語でのインタビューに答えてくれました！

6月25日からいよいよ予選シリーズ開始。男女それぞれブルー、イエローの計4フリートに分かれてレース。毎日10時にD旗掲揚、11時スタートのスケジュールだったが、5時間もの風待ちに加え、風下から風上に流れる激しい潮流のためにスタートラインではゼネリコが頻発。黒色旗違反艇の表示などにも時間がかかるためなかなかスタートできず、この日は2レースのみでハーバー帰着は20時近く。高緯度で陽が長いので22時頃まで明るいですが、選手、コーチは

約10時間を海上で過ごすという非常にタフな1日となった。この日、青とカトルはビックリするような走りを見せてくれた。1レース目青がなんとトップフィニッシュ！カトル4位フィニッシュ！ハーバーでトラッキングシステムで観戦していたサポーターも大盛り上がりだったようである。

今回のレース海面は北西に開けた海岸線の沖合い。大会期間中は北にある高気圧からの傾度風が続き、海風となった。日中はこれにサーマルが加わり北東から北西まで風軸が変化した。振れはそれほど大きくなく、後述する潮流の影響がはるかに大きいレースとなった。風はコンスタントに吹いており、弱い時で8ノット、強い日で最大20ノット程度。連日平均約10～12ノット程度でレースが行われた。波については、低気圧が北海沖になかったためか、うねりはほとんどなかったが、オンショア風が上がると風波が大きくなった。特筆すべきはやはり潮流で、大会期間中が大潮回りだったこともあり、潮流が非常に早く、強い時は分速50mに達し、大きな影響があった。ただし、潮流の方向は一定で且つ規則正しく転流するので情報をきちんと得ることが重要であった。各国選手にはエントリー時にタイドテーブルが配られていたが、レース2日目にベルギーチームのコーチ、フィリップ氏（1984年ロス五輪フィン級代表選手）との情報交換で得た転流のタイミングや流速等を図表化したものが選手にとって非常にわかりやすく有益であった。

大会は3日目まで予選シリーズが行われ、計7レースを実施。爽良は初日1レース目17位とまずまずな滑り出し、その後は上下するも17位、20位とフリート前半の順位をキープしゴールドフリートへ。登羽は持ち味の思い切りの良いレースがなかなかできずシルバーフリートで勝負をかけることとなった。悪い時は2人ともスタートが決まらず逃げのタックを打っている間に潮にも流されロスして1マークで離されてしまう展開であった。女子は青が2日目も2回目のトップフィニッシュを取るなど好調を維持してゴールドへ。カトルも4位、3位と2回のシングルフィニッシュを含めフリート上位をキープしてゴールドへと

なった。また、登羽は予選第5レースのフィニッシュライン近くでブルガリア選手とポート・スタボードのケースとなりプロテストした。英語で行われる審問においても翻訳アプリと通訳の助けを受けながら主張し、見事勝利した。

シリーズは全10レースとなっていたため、予選7レースを終わり、大会は残り2日間で3レースの決勝シリーズを行うこととなった。決勝シリーズはやはり各国選手とも底力を発揮するなか日本チームも健闘。登羽は決勝2レース目、吹っ切れた走りを見せて3位フィニッシュ。持てる力を出せた選手、出せなかった選手、それぞれの想いを胸にシリーズを終了した。

今回のレガッタは、なかなか経験できないほどの強い潮の中でのレースだったが、この中でも、上位選手はタックによるスピードのロスを最小限に抑え、また潮によるオーバーセールに気をつけたコース取りをしていた。潮流対応が最初に来る海面だったが、周期の長いシフト、細かな風の振れはやはりあり、セオリー通りにタックを打ちつつ、潮でもロスしないタックを打てる、基本技術の高い選手が最後には順位を上げてきた。

ハーバー帰着後、チャーター艇を返却して、表彰式。男子優勝はイタリア選手、女子はアルゼンチン選手であった。青は女子総合6位で、おそらく日本人女子歴代最高位、2015年ヨーロッパ選手権男子総合5位の倉橋直暉君に次ぐ成績だった。

その後はお楽しみのウェア等の交換。各国選手に大人気の鉢巻を持つ日本チームはどここの国からも引っ張りだこで、物怖じせず、かなり良い条件で各国の格好いいチームシャツなどをゲットしながら、夜遅くまで交流し、国際大会ならではの雰囲気を楽しんでいたようである。

今回の日本チームのうち3人は中学3年生、OPの国際大会はこれで最後となる。力を出し切れた、あるいは思い通りにいかなかったなど様々な気持ちがあると思うが、どれも選手たちにとっては大きな経験であり、今後も是非セーリングを続けて、その中で今回の経験を生かしてくれればと願っている。ま



た、カトルはもう1回チャンスがあるので頑張ってほしい。

最後にチームを支えてくださったJODAの皆様、各クラブの指導者や保護者の皆様、特別コーチの田中さん、大会期間中、食事や洗濯などあらゆる面で選手たちを支えてくださったサポーターの皆様、そしてどんな時も明るく、前向きに頑張っていた選手たちに心から感謝したい。ありがとうございました。



## 【最終成績】

鷺尾 青 (女子ゴールドフリート6位：

1-(38)-1-3-13-7-9-20-13-17 84点)

濱田登羽 (男子シルバーフリート38位：

42-62-59-34-28-(63)-47-60-3-63 398点)

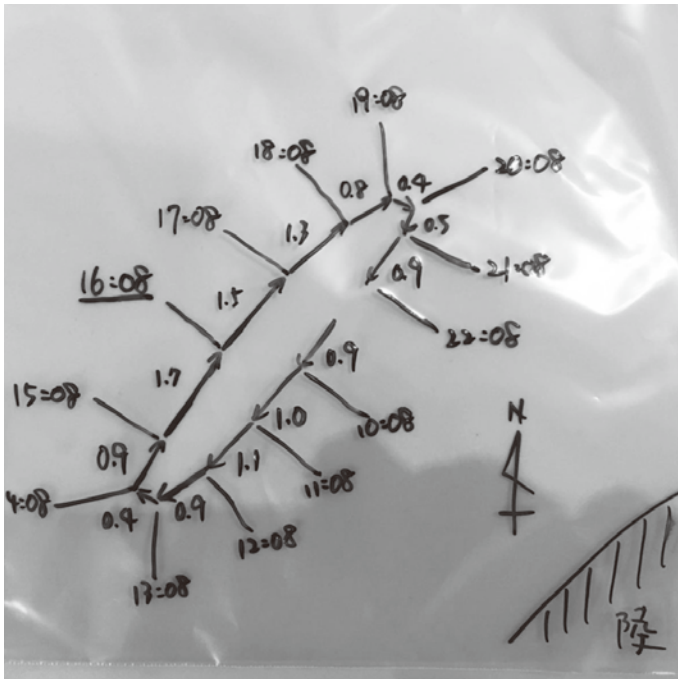
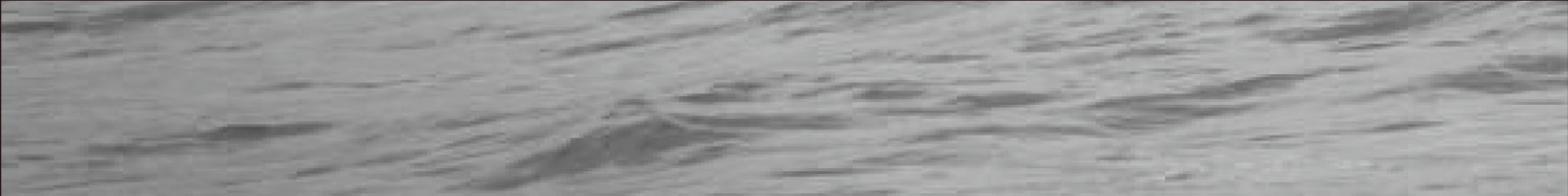
岡田爽良 (男子ゴールドフリート72位：

17-34-46-17-20-(72)-31-71-58-72 366点)

葉山カトル (女子ゴールドフリート28位：

4-21-3-29-16-(39)-26-16-35-21 171点)





## 2017 Optimist Asian & Oceanian Championship 2017年9月30日～10月7日

国代表：鷺尾玲子

開催地：香港

会場：Royal Hong Kong Yacht Club

参加艇：131艇

### [参加選手]

JPN3226 岩永燎汰 (海陽海洋クラブ)

JPN3357 鷺尾青 (江の島ヨットクラブジュニア)

JPN3117 葉山カトル (横浜ジュニアヨットクラブ)

JPN3360 大澤雄帆 (葉山町セーリング協会)

JPN3017 安永昂生

(B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ)

JPN3366 出口愛海

(静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニアクラブ)

JPN3367 遠藤貫太郎

(静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニアクラブ)

JPN3311 森美遥 (B&G兵庫ジュニア海洋クラブ)

JPN3149 黒田研一郎 (江の島ヨットクラブジュニア)

JPN3343 増本晴 (藤沢市青少年セーリングクラブ)

2017年アジア・オセアニア選手権はRoyal Hong Kong Yacht Clubで開催された。RHKYCは香港島の北にあるメインのKellett Island, 南にあるMiddle Island, そしてShelter Coveの3つにクラブハウスがある。開会式はKellett Island, レース・計測・夕食・閉会式はMiddle Islandで行われた。

開会式が行われたKellett IslandのRHKYCは香港島の高層ビルが立ち並ぶ街の中心地にあり、その日10月1日は中国の建国記念日で香港返還20周年でもあり、街中盛大な賑わいで祝賀打ち上げ花火もセレモニーの一部になっていた。

レースが行われたMiddle Islandは小さな島で香港島から渡し舟でしか行くことができず、クラブ会員のみが入れる島のため、セキュリティや設備はとても

良かった。(シャワールームにはシャンプー、石鹸、バスタオル、ドライヤーが完備され、鍵付きのロッカー、脱水機の使用)

大会公式ホテルは庶民的な街にあり、Middle Islandへの往復は大会側で手配済みの大型バスで20分程の渡し舟乗り場近くまで送迎⇒渡し舟乗り場まで徒歩20分程⇒渡し舟で3分程だった。気温は朝晩28℃～30℃ぐらい、日中は30℃～35℃ぐらいで湿度がとて高く、一日中80～95%だったため、Middle Islandまでの往復も体力を消耗した。初日と最終日に暑さの中、選手達がセール、スパー、フォイルをMiddle Islandに運ぶのは大変だったと思う。

今回の参加選手の10人中、9人が初のナショナルチームでの海外遠征だった。到着した日は暑さなのか、緊張なのか、疲れなのか、マイペースなのか、実感がわからないのか、元気がないように感じられたが、初日の計測で大会側がとても気さくに、そして丁寧に受け入れて頂き、開会式の時には徐々に活気が出てきた。

コーチボートはトルコとシェアしたが、香港の法律で香港のドライバーが義務付けられていたため、常に3人同乗だった。レース海面は潮が強い事や大型貨物船の航行もあるためか、島々の岸に寄っていて、とてもシフティで、大会期間中、強風もあれば順風、軽風もあった。チャーターボートのティラーエクステンションのジョイントが切れたり、ラダーのストッパーが効かずにラダーが勝手に取れたりとハプニングもあった。外気温と室内の気温差がとても大きく、体調を崩しかける選手もいた。思うように力を出せない選手もいた。

選手全員がすべてのレースで今の自分のベストを尽くしながらも、それぞれ悔しい思いをしたと思

う。この貴重な経験を生かし、海に出る楽しさを忘れずにそれぞれの次の目標へと向かってほしいと願っている。

最後に、JODAの皆様をはじめ、各クラブの皆様、保護者の皆様、この機会を支えて下さった皆様に感謝致します。ありがとうございました。

[最終成績]

安永昂生	19位
出口愛海	37位
黒田研一郎	40位
鷺尾青	43位
増本晴	53位
葉山カトル	62位
岩永燎汰	64位
森美遥	77位
大澤雄帆	80位
遠藤貫太郎	104位



## ● 2018年 JODAナショナルチーム最終選考会

2018年3月25日 別府市北浜ヨットハーバー

### 【OPクラス】

順位	選手名	セールNo.	性別
1	池田 海人	3211	男
2	北原 頌子	3239	女
3	嶋倉 照晃	3110	男
4	黒田研一郎	3381	男
5	磯邊 志心	3270	男
6	鷺尾 青	3357	女
7	濱田 登羽	3330	男
8	岡田 爽良	3335	男
9	重松 駿	3176	男
10	葉山カトル	3382	女
11	岩永 燎汰	3226	男
12	安永 昂生	3017	男
13	幸野 翔太	3325	男
14	蜂須賀啓介	3316	男
15	菅澤虎士朗	3288	男
16	和知健太郎	3201	男
17	前田 月里	3344	女
18	川前 優太	3355	男
19	出口 愛海	3366	女
20	服部 輝海	3351	男
21	宇田川涼太郎	3112	男
22	青木 滯	3200	女
23	西澤 佳菜	3268	女
24	遠藤貫太郎	3367	男
25	森 美遥	3311	女
26	千葉欽汰朗	3132	男
27	後藤 凜子	3360	女
28	増本 晴	3343	女
29	夏秋 理美	3240	女
30	西田 帆七	3372	女
31	旭 夏希	3254	女
32	苗床隆之介	3364	男
33	谷 凜太郎	3275	男
34	桔川慶次郎	3339	男
35	向井真太郎	3225	男
36	下石 雅樂	3243	女
37	森 皇翔	3163	男
38	東道 すず	3378	女
39	本多 剛	3257	男
40	内田 愛理	3370	女



## ● 2017 第5回 がまごおり海と風レース

2017年9月9日～10日 豊田自動織機海陽ヨットハーバー

### 【ゴールドクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	岩永 燦汰	海陽海洋クラブ	3226	6	男
2	嶋倉 照晃	真野浜セーリングクラブ	3110	8	男
3	蜂須賀啓介	なごやジュニアヨットクラブ	3316	7	男
4	菅澤虎士朗	江の島ヨットクラブジュニア	3150	5	男
5	川前 優太	海陽海洋クラブ	3355	7	男
6	藤原 沙耶	三重県ヨット連盟ジュニアユースヨットクラブ	2809	8	女
7	芝田 和尚	江の島ヨットクラブジュニア	3248	8	男
8	遠藤貴太郎	静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニアクラブ	3367	8	男
9	上原 慎平	和歌山ジュニアヨットクラブ	3131	6	男
10	木内恵美子	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3178	7	女

本大会のコンセプトは「どのようなレベルの選手も参加可能」です。すなわちゴールド→上級 シルバー→中級 ブロンズ→初級 です。JODAのAクラス Bクラスとの識別とは違っています。全日本への参加については、現在中級者も全日本に参加していることから、シルバークラスは全日本参加希望者として扱い、JSAF及びJODAの会員資格を満たすことを出場条件としています。したがって、ゴールド及びシルバーをAクラスとして報告します。



## ● 第31回 小沢吉太郎記念少年少女ヨットレース大会

2017年10月8日～9日 江の島ヨットハーバー沖

### 【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	池田 海人	江の島ヨットクラブジュニア	3211	8	男
2	重松 駿	夢の島ヨットクラブ	3176	7	男
3	北原 頌子	江の島ヨットクラブジュニア	3239	7	女
4	嶋倉 照晃	真野浜セーリングクラブ	3110	8	男
5	鷺尾 青	江の島ヨットクラブジュニア	3357	8	女
6	宇田川涼太郎	横浜ジュニアヨットクラブ	3112	8	男
7	藤森 佑太郎	千葉ヨットビルダースクラブジュニア	3130	8	男
8	西村 拓真	横浜ジュニアヨットクラブ	3307	7	男
9	鈴木 風雅	静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニアクラブ	3294	5	男
10	服部 輝海	江の島ヨットクラブジュニア	3174	7	男

毎年、一日は大荒れ、もう一日は風無しの小沢杯ですが、今年は両日共に晴天で弱風となりました。一日目は風の振れがおさまるまで、30分程の陸上待機後に出艇し、6～10ktの東風の中、全4レースを行いました。レース中には沖の海面を通過するハズの逗子マリーナよりスタートした若大将カップの大型クルーザー数十艇がスピンやジェネカーを上げて海面通過。選手も運営も気が抜けない迫力のミートとなってしまいました。事故もなく通過したことは選手たちの技量やルール意識によるものと思います。二日目は風が上がらず、予定を2時間遅らせて陸上待機からのスタートとなりました。風が上がりが始め、東から南の風にシフトしてからのレースとなりましたが、予定の6レースを実施することができました。A、Bクラス合わせて90艇を超える賑やかな二日間となりました。



## ● 2017琵琶湖ユースレガッタ秋季大会

2017年10月21日～22日 滋賀県柳が崎ヨットハーバー

### 【OP級】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	磯邊 壱心	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	2948	8	男
2	木内恵美子	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3178	7	女
3	上原 慎平	和歌山ジュニアヨットクラブ	3131	6	男
4	森 美遥	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3311	7	女
5	楢本アロン	海陽海洋クラブ	3171	7	男
6	森 皇翔	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3163	8	男
7	川前 優太	海陽海洋クラブ	3355	7	男
8	城 毅	琵琶湖ジュニアヨットクラブ	3218	7	男
9	竹元 仁	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3025	5	男
10	堀野 瑠海	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3027	4	男



台風21号が接近している中での開催となり、特にBクラスの選手には運営艇全艇が注意をしながら実施することを確認し合い、初日は予定の5分遅れでスタートするも、先頭艇が最終レグを帆走中に風が落ちはじめ、結局4艇がDNFとなってしまいました。その後雨は降るものの風は全く吹かず、初日のレースは1レースのみとなりました。2日目は暴風圏に入る予報でしたが、朝から雨は一段と激しく降るものの風は依然として無く、それでも予定より40分遅れでこの日の1レース目をスタートしました。最終艇が最終マークを回航する頃に風が急に上がりだし、10分程でブローで20ktsを超え始めた為、安全面を考え、このレースを最終としてレースを終了しました。参加頂いた皆様ありがとうございました。これに懲りずにまた次回も宜しくお願い致します。



## ● 第13回 坊ちゃんカップジュニア・ヨット大会

2017年11月11日～12日 愛媛県新居浜市 マリンパーク新居浜

### 【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	前田 月里	広島セーリングスクール	3344	7	女
2	鶴本 優士	B&G高松海洋クラブ	3253	8	男
3	谷 凜太郎	B&G高松海洋クラブ	3275	6	男
4	酒巻 佑成	B&G高松海洋クラブ	3251		男
5	大槻 千寿	B&G松山海洋クラブ	3281	7	女
6	旭 夏希	B&G高松海洋クラブ	3254	6	女
7	花田 馨	光セーリングクラブ	3159	7	女
8	渡邊 碧巳	B&G松山海洋クラブ	3353		
9	勝田 実莉	B&G高松海洋クラブ	3250		
10	平木 葵	B&G松山海洋クラブ	3135		

## ● 2017 ジュニア・ユースクリスマスカップ

2017年12月16日～17日 江の島ヨットハーバー

### 【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	岩永 燎汰	海陽海洋クラブ	3226	6	男
2	菅澤虎士朗	江の島ヨットクラブジュニア	3288	5	男
3	池田 海人	江の島ヨットクラブジュニア	3211	8	男
4	服部 輝海	江の島ヨットクラブジュニア	3351	7	女
5	北原 頌子	江の島ヨットクラブジュニア	3239	7	女
6	増本 晴	藤沢市青少年セーリングクラブ	3343	8	女
7	磯邊 壱心	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3270	8	男
8	鈴木 海翔	横浜市民ヨットハーバージュニアヨットクラブ	3320	7	男
9	葉山カトル	横浜ジュニアヨットクラブ	3117	7	女
10	岡田 爽良	藤沢市青少年セーリングクラブ	3335	8	男

OP級はAクラス77艇、Bクラス18艇の参加がありました。

16日はレーススタート予定時刻で北の風2～3ノットのため陸上待機しましたが、東～南に回り6ノット程度の風が入り始めたので1レース行いました。1レース終了後風が南西に回り急激に強くなったため（最大25ノット）A P・Aでハーバーバックしました。2日目は朝から良い風が吹き北東の風7ノットで第2レース、10～12ノットで第3レース、12～14ノットで第4レース、第5レースを行うことが出来ました。OP Bクラスは第3レース終了後、風が上がってきたのでA P・Aとしてレースを終了しました。Aクラスは順風～強風までの風域で1レースの所要時間1時間前後と十分な距離をとってレースを行えました。16日にはユースの選手を含め200人以上での盛大な懇親会もあり、各選手は楽しんでいました。



## ● 2017年度 強化合同フリートレース 江の島ミッドウィンターレガッタ

2018年1月14日 江の島ヨットハーバー

### 【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	池田 海人	江の島ヨットクラブジュニア	3211	8	男
2	葉山カトル	横浜ジュニアヨットクラブ	3382	7	女
3	鷲尾 青	江の島ヨットクラブジュニア	321	8	女
4	黒田研一郎	江の島ヨットクラブジュニア	3149	8	男
5	重松 駿	夢の島ヨットクラブ	3176	7	男
6	岡田 爽良	藤沢市青少年セーリングクラブ	315	8	男
7	芝田 和尚	江の島ヨットクラブジュニア	3209	8	男
8	菅澤虎士朗	江の島ヨットクラブジュニア	3288	5	男
9	北原 頌子	江の島ヨットクラブジュニア	3239	7	女
10	西村 拓真	横浜ジュニアヨットクラブ	3307	7	男

朝から10～15ktの北北東の風が吹く中、レーザーラジアルクラス、レーザー4.7クラスを含む、OP-A、OP-Bの4クラスのレースを同一海面で行いました。気温も一桁という寒い風の中、レーザークラスに続いて、今回もOP-Aクラス69艇が一斉にスタートするという全日本規模のレースとなりました。風は午前中が勝負で午後には急速に落ちる予報でしたので、コースは多少短めに設定しましたが、良い方向に裏切られます。それでもOP-Aクラスの第4レース前位から東に振れ始め、コース再設定の安全確保のため本部船を沖側に移動しましたが、混乱もなく第4レースを実施しました。OP-Aクラスには良い風、OP-Bクラスには多少試練の風の中、全クラス4レースを実施することができました。沢山のご参加、有難うございました。





## ● 2018年 九州ウインターカップ選手権大会

2018年2月11日～12日 鹿児島市平川ヨットハーバー

### 【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	濱田 登羽	北九州ジュニアヨットクラブ	3330	8	男
2	夏秋 理美	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	3240	8	女
3	苗床隆之介	北九州ジュニアヨットクラブ	3364	6	男
4	小窪 悠斗	鹿児島ジュニアヨットクラブ	3043	7	男
5	縄田 拓琉	北九州ジュニアヨットクラブ	3185	6	男
6	前田 月里	広島セーリングスクール	3344	7	女
7	花田 馨	光セーリングクラブ	3159	7	女
8	岩下 稔	B & G別府海洋クラブ	3059	6	男
9	小窪 健斗	鹿児島ジュニアヨットクラブ	3042	7	男
10	松本 穂花	B&Gハウステンボス町ジュニア海洋クラブ	3205	8	女



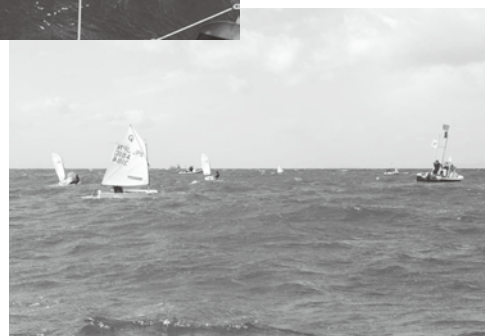
「2018九州ウインターカップ」は初日（2月11日）OPAクラス2レース、OPBクラス1レースを行った。初日の第1レースは20nt/s・風向340度・気温2度、第2レースは24nt/s・風向340度・気温2度の中行われた。初日第3レースを行う前から風が上がり始めmax34nt/sなり運営も厳しくなった為、ハーバーバックとなった。2日目（2月12日）は朝から雪・気温0度だったが初日とは違い風がなくノーレースとなった。九州道の7割近くが通行止めと厳しい環境となったので閉会式を早めに行った。雪の中、広島をはじめ遠方より多くの選手が鹿児島まで足を運んで頂いたおかげで盛況な大会となった。

## ● 第31回 和歌山コールドカップ

2018年2月11日～12日 ナショナルトレーニングセンター（和歌山セーリングセンター）

### 【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	磯邊 壱心	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3270	8	男
2	森 皇翔	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3163	8	男
3	向井真太郎	広島セーリングスクール	3225	7	男
4	上原 慎平	和歌山ジュニアヨットクラブ	3131	6	男
5	谷 凜太郎	B&G高松海南クラブ	3275	6	男
6	森 美遥	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3311	7	女
7	藤原 優咲	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3375	6	女
8	旭 夏希	B&G高松海南クラブ	3254	6	女
9	菅野 響	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3184	7	男
10	城 毅	琵琶湖ジュニアヨットクラブ	3218	7	男



冬型が強まり雪がちらつく寒い天候となった。風も平均10m/sを超え、15m/sのブローも入り、波も2mを超えるハードなコンディションだった。初日、予定通りAクラスはレースを開始し、3レースを終了したところで、ますます雪雲と共に風波が強くなると判断しAP/Aを掲揚して終了した。2日目も同様の天候で、寒さはより厳しくなり、珍しく路肩には雪が積もり道路には凍結も見られる状況であった。予定通りレースを開始し、10m/sを超える風ではあったもののラルは4m/s程度まで落ち、また振れも入り大きな波の中、高い技術のいるセーリングとなった。4レースを実施し、計7レースを完了した。なお、Bクラスは1レースのみの実施となった。

## ● 2018年 冬風ヨットレース

2018年2月18日 江の島ヨットハーバーおよび沖海面

### 【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	磯邊 壱心	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3270	8	男
2	岩永 燎汰	海陽海洋クラブ	3226	6	男
3	増本 晴	藤沢市青少年セーリングクラブ	3343	8	女
4	本多 剛	海陽海洋クラブ	3257	4	男
5	出口 愛海	静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニアクラブ	3366	7	女
6	服部 春花	江の島ヨットクラブジュニア	3120	5	女
7	西田 帆七	葉山町セーリング協会	3372	5	女
8	鈴木 海翔	横浜市民ヨットハーバージュニアヨットクラブ	3320	7	男
9	宇田川涼太郎	横浜ジュニアヨットクラブ	3112	8	男
10	池田 海人	江の島ヨットクラブジュニア	3211	8	男

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
11	北原 頌子	江の島ヨットクラブジュニア	3239	7	女
12	窪田 啓汰	江の島ヨットクラブジュニア	3125	4	男
13	東道 すず	江の島ヨットクラブジュニア	3157	5	女
14	千葉 欽汰朗	江の島ヨットクラブジュニア	3132	6	男
15	蜂須賀啓介	なごやジュニアヨットクラブ	3316	7	男
16	鷺尾 空	江の島ヨットクラブジュニア	357	5	女
17	後藤 凜子	葉山町セーリング協会	3360	7	女
18	服部 輝海	江の島ヨットクラブジュニア	3351	7	男
19	西村 拓真	横浜ジュニアヨットクラブ	3307	7	男
20	宮本あかり	夢の島ヨットクラブ	3345	6	女

冬の寒い時期に行われる大会ですが、今年は晴天にめぐまれました。広範な地域から多数の選手が集まってくれたのですが、開会式前後にはあった北風も、レース開始時刻が近づくにつれ弱まり、風軸が定まらなくなります。一旦ハーバーバックし風を待ちます。北西→西→南→南東と大きく向きを変えた後、13時30分過ぎにやっと安定し、スタートしました。ところが今度は潮が強く、上～サイドの向かい潮のレグで風は残っているものの艇が進みません。3マークで短縮となり、1レースだけの大会となりました。優勝は兵庫から遠征してきた磯邊壱心選手。今回は選手・ご父兄・運営にとっても我慢の大会となりましたが、また来年も来てくださいね！

## ● 2017年度 強化合同フリートレース 江の島アーリースプリングレガッタ

2018年3月4日 江の島ヨットハーバー沖

### 【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	池田 海人	江の島ヨットクラブジュニア	3211	8	男
2	黒田研一郎	江の島ヨットクラブジュニア	3381	8	男
3	岡田 爽良	藤沢市青少年セーリングクラブ	315	8	男
4	北原 頌子	江の島ヨットクラブジュニア	3239	7	女
5	菅澤虎士朗	江の島ヨットクラブジュニア	3288	5	男
6	鷺尾 青	江の島ヨットクラブジュニア	3357	8	女
7	重松 駿	夢の島ヨットクラブ	3176	7	男
8	宇田川涼太郎	横浜ジュニアヨットクラブ	3112	8	男
9	和知健太郎	江の島ヨットクラブジュニア	3201	7	男
10	青木 滯	江の島ヨットクラブジュニア	3200	7	女



当日早朝までの穏やかな状況から、一変、出艇時には南南西の風が10kt～16ktとなり、さらに上がる予報でしたのでサバイバルが予想される幕開けとなりました。A、Bクラス共に第1レースを実施中には、16kt～20ktとなってきたため、Bクラスを第1レースでAPAとしAクラスのみ、レース続行としました。Aクラスの第2レース途中には20ktがコンスタントに入り、波高も2m程となり、うまく走れているのは先頭の数艇という状況となりました。3マーク付近にはシバー艇や沈艇が増えだし、グリーン旗とサポート無線でサポートボートにもレスキュー参加してもらいましたが、更に走れない艇が多くなったため、AクラスもAPAとし2レースのみの大会になってしまいました。



## ● 第26回 YMFSセーリング・チャレンジカップIN浜名湖

2018年3月23日～25日 静岡県立三ヶ日青年の家

### 【上級】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	西村 拓真	横浜ジュニアヨットクラブ	3307	7	男
2	鈴木 海翔	横浜市民ヨットハーバージュニアヨットクラブ	3320	7	男
3	重松 陽	夢の島ヨットクラブ	3352	5	男
4	市橋 愛生	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	3267	7	女
5	園村 浩輔	YMFSジュニアヨットスクール葉山	3374	9	男
6	楯本アロン	海陽海洋クラブ	3171	7	男
7	池田ももか	江東区立小中学校セーリング部	3363	7	女
8	中島 拓海	横浜ジュニアヨットクラブ	3365	5	男
9	森 瑛心	横浜市民ヨットハーバージュニアヨットクラブ	2887	8	男
10	杉浦ふう華	海陽海洋クラブ	3238	7	



3日間を通し、強風、中風の良いコンディションの中、予定する全レースが消化出来ました。レースコースは、2海面設定の為、OP級のクラスは、トライアングルコースプラスソーセージコースを交えたオリンピックコース設定で実施。浜名湖特有の強風、中風の強弱は有ったが、微風がなかったことで、実力通りの技量を全ての選手が発揮出来たと考える。北は北海道から西は九州と、全国から参加がありレース期間中も勉強会を含め交流機会も多く持つことができた。今回は、東日本大会が8月に浜名湖で開催されることで、多くの参加を期待したが別府の選考会と重なり参加隻数が減少し残念であった。

## ● 2018 MAIN STAGE 兵庫ジュニアオープン選手権

2018年4月7日～8日 兵庫県立海洋体育館（芦屋マリンセンター）

### 【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	黒田研一郎	江ノ島ヨットクラブジュニア	3381	8	男
2	北原 頌子	江ノ島ヨットクラブジュニア	3239	7	女
3	池田 海人	江ノ島ヨットクラブジュニア	3211	8	男
4	蜂須賀啓介	なごやジュニアヨットクラブ	3316	7	男
5	岡田 爽良	藤沢市青少年セーリングクラブ	3335	8	男
6	出口 愛海	静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニアクラブ	3366	7	女
7	森 皇翔	B & G兵庫ジュニア海洋クラブ	3163	8	男
8	岩永 燎汰	海陽海洋クラブ	3226	6	男
9	磯邊 壱心	B & G兵庫ジュニア海洋クラブ	3270	8	男
10	鷲尾 青	江ノ島ヨットクラブジュニア	3357	8	女



4/7～8、今年も恒例の『Main Stage 兵庫ジュニアオープン選手権大会』を開催することができました。新年度早々、全国各地からAクラス55艇、Bクラス16艇がエントリー。選手・保護者・運営スタッフあわせ総勢約200名の人々が兵庫県立海洋体育館に集う、西日本では最大級の規模を誇る大会となりました。つい先日の最終選考会でNTに内定している19名のうち11名も参加。まるで冬に逆戻りしたような冷たい風が吹き荒れる芦屋の海で、熱い闘いが繰り広げられました。今年の兵庫ジュニアオープンは2日間とも本大会近年には珍しい10m/sを超える強風のコンディションとなりました。

● UTO CUP 2018 くまもと未来国体記念ジュニアヨット大会 兼 第17回 ひのくに新世紀総体記念ジュニアヨット大会  
2018年4月21日～22日 宇土マリーナ

【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	幸野 翔太	B&G別府海洋クラブ	3325	8	男
2	小窪 健斗	鹿児島ジュニアヨットクラブ	3042	8	男
3	田中 花奈	鹿児島ジュニアヨットクラブ	2961	8	女
4	木田丞志郎	鹿児島ジュニアヨットクラブ	3044	8	男
5	小窪 悠斗	鹿児島ジュニアヨットクラブ	3043	8	男
6	石原 千海	鹿児島ジュニアヨットクラブ	2962	8	男
7	阿南 景綱	熊本ジュニアヨットクラブ	2786	7	男
8	松本 東斗	B&G時津海洋クラブ	3105	8	男
9	中尾 歩拓	B&Gゆかり町ジュニア海洋クラブ	3206	9	男
10	岩下 稔	B&G別府海洋クラブ	3059	7	男



大会1日目晴天の中2時間の風待ちの後、西の風3mで第一レースが始まり、第二レースでは最大7mの西風でのレースが第三レースでは3mにおちてこの日は終了しました。当日よりは、恒例のBBQのレセプションで肥後牛の焼肉を頬張りながら、クラブ紹介等が行われました。翌日は引き続きの晴天の中、風は大きく振れて東の風3mで第4、第5レースが行われ第六レース、全クラスがスタートした後風が落ち、レースが中止となり、レースが終了しました。二日間のレースを通して別府の河野翔太君が全レースでトップを取るなど、ほかの選手にとっても印象に残ったレースになったのではないのでしょうか。表彰式では6位までの入賞者以外にも賞品があり又、二日目の帰着後、地元産あさりの貝汁がふるまわれ全員が有明海の貝汁を堪能された事と思います。

● 2018年 第17回ノルウェーフレンドシップヨットレース

2018年4月21日～22日 江の島ヨットハーバー沖

【OPクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	池田 海人	江の島ヨットクラブジュニア	3211	9	男
2	鷺尾 青	江の島ヨットクラブジュニア	3357	9	女
3	黒田研一郎	江の島ヨットクラブジュニア	3381	9	男
4	磯邊 壱心	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3270	9	男
5	菅澤虎士朗	江の島ヨットクラブジュニア	3288	6	男
6	岡田 爽良	藤沢市青少年セーリングクラブ	3335	9	男
7	葉山カトル	横浜ジュニアヨットクラブ	3382	8	女
8	増本 晴	藤沢市青少年セーリングクラブ	3343	9	女
9	重松 駿	夢の島ヨットクラブ	3176	8	男
10	服部 輝海	江の島ヨットクラブジュニア	3351	8	男



第1レースは12kt程度の南風の中、Aクラス、Bクラス共にスタートしましたが、次第に風が上がり始め、第1レースの終わりには、16ktがコンスタントに入り、波高も1m程になったため、BクラスをAPAとしました。

Aクラスの第2レース以降は16ktオーバーで次第に波高も高くなり、第3レースでは約2/3の選手がRETやDNFとなったため、安全上の理由でAクラスも第3レース後にAPAとしました。

2日目は前日の風や波もおさまり、約1時間の陸上待機ののち、Aクラスの第4レース、Bクラスの第2レースを4ktの風の中スタートしました。様々なコンディションの中、Aクラス全6レース、Bクラス全4レースを実施できました。

パーティー&表彰式では、アーリン・リーメスタ駐日ノルウェー王国大使をお迎えし、ノルウェーサーモンに舌鼓を打ちながら、抽選会などでも盛り上がりました。

## ● 第63回 関東水域OP連絡会OP級オープンヨットレース大会

2018年4月29日 東京都若洲海浜公園ヨット訓練所

### 【ゴールドフリート】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	重松 駿	夢の島ヨットクラブ	3176	8	男
2	重松 陽	夢の島ヨットクラブ	3352	6	男
3	鈴木 海翔	横浜ジュニアヨットクラブ	3320	8	男
4	西村 拓真	横浜ジュニアヨットクラブ	3307	8	男
5	杉浦ふう華	海陽海洋クラブ	3238	8	女
6	藤森佑太郎	千葉ヨットビルダーズクラブジュニア	3130	9	男
7	菅野 響	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3184	8	男
8	池田ももか	江東区立小中学校セーリング部	3363	8	女
9	落合 創太	横浜市民ジュニアヨットクラブ	3179	8	男
10	上條久美子	江東区立小中学校セーリング部	3292	8	女



昨年に続き東京都若洲沖で開催。関東水域中心だが、西は静岡・愛知・兵庫・沖縄と幅広く全9クラブ41名（A34・B7）が参加。NT選考会経験者5名含めAクラスは相応にレベルの高いレース。当日は高気圧が日本列島を覆う中、大陸に低気圧がある関係で温かい南風がコンスタンスに吹くヨットレース日和となった。風軸175°～200°、風速10knot～20knot、気温19℃～25℃、波高0.3m～1.2mで安定したコンディション。コースはS→1→2→3→2→3→Fと選手権並みの長めのコース（S→1：1→2：2→3=1：0.67：1）。レース委員長は谷口弘次氏。準備信号は全レースU旗。1R：追潮でスタート直前に多くの艇がコースサイドに出たためゼネリコ。2回目スタートしたが、9艇UFD。8～12knot、10°の振れ幅で180°800m（S→1）のコース設定、36～42分、全艇フィニッシュ。2R：11：00の干潮から向潮に変わり際、12～16knot、10°の振れ幅で190°950mのコース設定、47～55分、全艇フィニッシュ。3R：向潮で、スタート時は若干風速落ちるも、レース中に風が上がり始め波高も1.0m程度、11～17knot、10°の振れ幅で190°850mのコース設定。48～63分で1艇DNF、1艇RET。4R：15m/分程度の向潮で波高1.2m程度、15～20knot、5°の振れ幅で195°650mのコース設定。選手レベルの差が顕著に表れ、41～56分で8艇DNF、1艇RET。全レースを通して安定的に上位（5→1→1→3）を走った夢の島ヨットクラブ重松駿選手が優勝。

Bクラスは、S→1→2→3→Fと初級にしては長めのハードコース。強風コンディションの中、3レース消化。中でも力強い走りを見せた横浜市民ジュニアヨットクラブ大嶋碧斗選手（3→1→1）が優勝。

## ● 第9回 西日本ジュニア・ユース交流セーリング選手権大会

2018年5月4日～6日 佐賀県ヨットハーバー

### 【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	濱田 登羽	北九州ジュニアヨットクラブ	3330	9	男
2	西澤 佳菜	北九州ジュニアヨットクラブ	3268	9	女
3	岡田 爽良	藤沢市青少年セーリングクラブ	3335	9	男
4	前田 月里	広島セーリングスクール	3344	8	女
5	幸野 翔太	B & G別府海洋クラブ	3325	8	男
6	向井真太郎	広島セーリングスクール	3283	8	男
7	市橋 愛生	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	3267	8	女
8	森 美遥	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3311	8	女
9	谷 凜太郎	B & G高松海洋クラブ	3275	7	男
10	旭 夏希	B & G高松海洋クラブ	3254	7	女

### 【Bクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	伊藤 音人	B & G時津海洋クラブ	3256	5	男
2	北 有能	広島セーリングスクール	3159	7	男
3	久松 志摩	B&Gハウステンボス町ジュニア海洋クラブ	3207	4	男
4	久松 希樹	B&Gハウステンボス町ジュニア海洋クラブ	3204	6	女
5	小田 巧己	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	2403	5	
6	向井 なお	広島セーリングスクール	2937	6	女
7	久保田結花	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	2979	4	女
8	堀 心音	B & G別府海洋クラブ	3059		女
9	竹中 源希	鹿児島ジュニアヨットクラブ	0	6	男
10	松岡 忠尚	B&G松山海洋クラブ	511	2	男

## ● 2018年 OP級浜名湖ジュニアオープンレース

2018年5月19日～20日 静岡県浜松市北区ビーチスマリーナ沖

### 【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	岩永 燎汰	海陽海洋クラブ	3226	7	男
2	磯邊 壱心	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3270	9	男
3	菅澤虎士朗	江の島ヨットクラブジュニア	3288	6	男
4	重松 駿	夢の島ヨットクラブ	3176	8	男
5	北原 頌子	江の島ヨットクラブジュニア	3239	8	女
6	出口 愛海	静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニアクラブ	3366	8	女
7	鷺尾 青	江の島ヨットクラブジュニア	3357	9	女
8	和知健太郎	江の島ヨットクラブジュニア	3201	8	男
9	川前 優太	海陽海洋クラブ	3355	8	男
10	葉山カトル	静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニアクラブ	3382	8	女



5/19のプラクティスレースは、強風のためBクラスの出艇は断念。Aクラスのみとなりました。トップ艇が3マークに到達するころには、18m/sの強風となったためノーレースとなりました。5/20の本レースは、風の振れによりマーク設定が難しい条件のため、午前中は1レースのみの成立でしたが、午後になり比較的安定した南風が入り、3レースを実施、予定の4レースを消化致しました。レース結果は、海陽海洋クラブの岩永燎汰君が優勝（2連覇）、今年の世界選手権代表のB&G兵庫ジュニア海洋クラブの磯邊壱心君が2位、江の島ヨットクラブジュニアの菅澤虎士朗君が3位でした。



## ● 2018 OP級 関西選手権

2018年6月2日～3日 田井宮津ヨットハーバー

### 【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	磯邊 壱心	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3270	9	男
2	藤原 優咲	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3375	7	女
3	鍛本アロン	海陽海洋クラブ	3171	8	男
4	川前 優太	海陽海洋クラブ	3355	8	男
5	上原 慎平	和歌山ジュニアヨットクラブ	3131	7	男
6	大西 祥介	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3158	6	男
7	森 美遥	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3311	8	女
8	中村 晃	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3380	7	男
9	旭 夏希	B&G高松海洋クラブ	3254	7	女
10	久保 晴也	宮津ジュニアヨットクラブ	2636	7	男



6月2日風速3から5メートル、4レース実施したが、北よりの風向の変化少ない風の中、絶好のコンディション。6月3日午前一番、微風のなか1レース成立、その後風向が180度変化し、お昼前にふたたび180度変化し、あと安定、2～3メートルの北よりの風の中2レース成立。サイドマーク2個センタースタート、センターフィニッシュのトラベゾイドでおおよそ40分ほどのコース。回転ペナルティーは3件確認、上位と下位の選手のレベルの差が少なく運営しやすい大会でした。特に海水の透明度が高く、感激の声が聴かれた。



## ● 2018年 藤沢チャンピオンレース

2018年6月2日 江の島ヨットハーバーおよび沖海面

### 【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	葉山カトル	横浜ジュニアヨットクラブ	3382	8	女
2	鷺尾 青	江の島ヨットクラブジュニア	3357	9	女
3	池田 海人	江の島ヨットクラブジュニア	3211	9	男
4	岡田 爽良	藤沢青少年セーリングクラブ	3335	9	男
5	菅澤虎士朗	江の島ヨットクラブジュニア	3288	6	男
6	出口 愛海	静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニアクラブ	3366	8	女
7	東道 すず	江の島ヨットクラブジュニア	3157	6	女
8	青木 滯	江の島ヨットクラブジュニア	3200	8	女
9	鷺尾 空	江の島ヨットクラブジュニア	3	6	女
10	和知健太郎	江の島ヨットクラブジュニア	3201	8	男



2018年6月2日(土)、藤沢チャンピオンレースが開催されました。朝から風が南に回り始めたもののなかなか安定せず、開会式、スキップーズミーティングの後陸上待機となりましたが、10時半過ぎにはシーブリーズが入り始めたため、レース委員会はD旗を掲揚しました。11時には200°の安定した風が入りましたが、まだ風も5kntと弱く1マークまで550mの距離でレースを開始しました。その後、風は200°のまま10kntまであがり、OP-Aクラスは予定の4レースを終了。OP-Bクラスも6レースを実施することができました。多少の振れのある海面でしたが、ナショナルチームのメンバーが実力を発揮し上位を締めました。そのなかで、横浜ジュニアヨットクラブの葉山選手がトップを2回とり見事に優勝。優勝者に渡される「山下カップ」の栄冠に輝きました。



## ● 2018 スプリングジュニアカップ

2018年6月9日～10日 豊田自動織機海陽ヨットハーバー

### 【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	磯邊 壱心	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3270	9	男
2	木内恵美子	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3178	8	女
3	上原 慎平	和歌山ジュニアヨットクラブ	3131	7	男
4	藤原 優咲	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3375	7	女
5	鍛本アロン	海陽海洋クラブ	3171	8	男
6	本多 剛	海陽海洋クラブ	3257	5	男
7	吉岡 和月	真野浜セーリングクラブ	3315	8	男
8	中村 晃	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3380	7	男
9	川前 優太	海陽海洋クラブ	3355	8	男
10	遠藤貫太郎	静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニアクラブ	3367	9	男



参加クラブ13クラブ、Aクラス25名、Bクラス8名の参加でレースを開催した。1日目のプラクティスレースは快晴で5m/s～7m/sの最高のコンディションの中4レースを実施。2日目の本レースは、雨のち曇りのあいにくの天気、風も安定せず難しいコンディションの中でのレースとなったが、最終第3レースは5m/sの良風が吹き、予定4レースに対して3レースを実施することが出来た。また、ナショナルチームの選手がレースを引っ張り白熱したレースとなった。



## ● 2018年度 強化合同フリートレース 江の島ジュンレガッタ

2018年6月17日 江の島ヨットハーバー沖

### 【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	岩永 燎汰	海陽海洋クラブ	3226	7	男
2	黒田研一郎	江の島ヨットクラブジュニア	3381	9	男
3	和知健太郎	江の島ヨットクラブジュニア	3201	8	男
4	鷺尾 青	江の島ヨットクラブジュニア	3357	9	女
5	菅澤虎士朗	江の島ヨットクラブジュニア	3288	6	男
6	服部 春花	江の島ヨットクラブジュニア	3174	6	女
7	東道 すず	江の島ヨットクラブジュニア	3157	6	女
8	磯邊 壱心	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3270	9	男
9	服部 輝海	江の島ヨットクラブジュニア	3351	8	男
10	青木 滯	江の島ヨットクラブジュニア	3200	8	女



雲が多く前日から吹いていた北風が落ちる中、なんとか北風で一本実施したいと予定通り出艇しましたが、その後も風の落ちは止まらず、選手がレース海面に到着する頃には2kt前後となってしまいました。レースが実施できる南風が入るまでは数時間かかるのでAPHを掲揚し、全艇ハーバー待機としました。13時を過ぎる頃、6~8ktの南風が入り、第一レースを実施することができました。期待していた安定した南風とはならず、強弱の多い振れ振れの風の中、Bクラスは順調に4レースを実施し、Aクラスは日没ギリギリのハーバーバックまで行いましたが、3レースの実施となりました。19時から表彰式となり、ご参加の皆様にはご迷惑をお掛けしたレースとなってしまいました。

## ● 2018年 OPヨット大会 in KATSURAHAMA

2018年6月23日~24日 福津市勝浦浜、勝浦浜海洋スポーツセンター前海面

### 【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	前田 月里	広島セーリングスクール	3344	8	女
2	幸野 翔太	B&G別府海洋クラブ	3325	8	男
3	下石 雅楽	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	3243	7	男
4	西澤 佳菜	北九州ジュニアヨットクラブ	3268	9	女
5	苗床隆之介	北九州ジュニアヨットクラブ	3364	7	男
6	木田丞志郎	鹿児島ジュニアヨットクラブ	3349	8	男
7	市橋 愛生	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	3267	8	女
8	谷 凜太郎	B&G高松海洋クラブ	3275	7	男
9	小田 雪乃	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	3327	7	女
10	石原 千海	鹿児島ジュニアヨットクラブ	2962	8	男



小雨がぱらつくなか予定より約1時間遅れてのスタート。風速は10ノットまで上がり雨もやみ快適なレースが実施された。1日目は2レースを実施。Cクラスは海岸の波が高く中止となる。2日目は朝から晴れて風も適度にあり予定より5分遅れて9:00スタート。11ノットを越え波も高いためBクラス3艇がDNC。Aクラスは全6レース実施。Bクラスは5レース実施で終了した。Cクラスは、2日目もレースはできなかった。



## ● 2018 障害者と健常者のヨット大会

2018年7月15日～16日 大分県別府市北浜ヨットハーバー

### 【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	幸野 翔太	B&G別府海洋クラブ	3325	8	男
2	藤原 優咲	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3375	7	女
3	濱田 登羽	北九州ジュニアヨットクラブ	3330	9	男
4	菅野 響	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3184	8	男
5	下石 雅樂	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	3243	7	女
6	田中 花奈	鹿児島ジュニアヨットクラブ	3350	8	女
7	市橋 愛生	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	3267	8	女
8	谷 凜太郎	B&G高松海洋クラブ	3275	7	男
9	大西 祥介	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3158	6	男
10	中村 晃	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3380	7	男

7月15、16日の両日、大分県別府市にある北浜ヨットハーバーで、「2018障害者と健常者のヨット大会」を開催しました。この大会は、障害者と健常者が同じコースでヨットレースを楽しむことができるのが大きな特徴であり、今年度はアンサンブル太陽による開会式でのオープニング演奏や社会福祉法人べっぶ優ゆうによるクッキー等の販売コーナーを設け、障害者の理解促進を図った。初心者から日本代表を狙う上級者まで幅広く、3回目となる本大会には、8県から13チーム72人（障害児1人を含む）が参加した。



## ● 2018年度JOCジュニアオリンピックカップ兼JSAFジュニア・ユースセーリングチャンピオンシップ

2018年7月21日～22日 ナショナルトレーニングセンター（和歌山セーリングセンター）

### 【OP級】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	西澤 佳菜	北九州ジュニアヨットクラブ	3268	9	女
2	前田 月里	広島セーリングスクール	3344	8	女
3	出口 愛海	静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニアクラブ	3366	8	女
4	磯邊 壱心	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3270	9	男
5	重松 駿	夢の島ヨットクラブ	3176	8	男
6	森 美遥	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3311	8	女
7	蜂須賀啓介	なごやジュニアヨットクラブ	3316	8	男
8	山田真理歩	YMFSジュニアヨットスクール葉山	3298	9	男
9	川前 優太	海陽海洋クラブ	3355	8	男
10	向井真太郎	広島セーリングスクール	3283	8	男

正に真夏のレースとなりました。和歌浦らしい西寄りのシーブリーズの中、初日に4レース、2日目に3レースが順調に行われました。今年もAクラスの実施で大きいフリートとなりましたが、レベルの高いレースが繰り広げられていました。下位の選手も大きく遅れることはなく、上位選手を追いかけることで、それぞれのレベルを上げられたのではないかと感じました。



# ● ODO CUP 2018 / 第30回 福岡ジュニアヨット選手権大会

2018年7月21日～22日 福岡市ヨットハーバー

## 【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	藤原 優咲	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3375	7	女
2	幸野 翔太	B&G別府海洋クラブ	3325	8	男
3	安永 昂生	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	3017	9	男
4	濱田 登羽	北九州ジュニアヨットクラブ	3330	9	男
5	苗床隆之介	北九州ジュニアヨットクラブ	3364	7	男
6	下石 雅樂	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	3243	7	男
7	田中 花奈	鹿児島ジュニアヨットクラブ	3350	8	女
8	中村 晃	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ	3380	7	男
9	岩下 稔	B&G別府海洋クラブ	3059	7	男
10	石原 千海	鹿児島ジュニアヨットクラブ	2962	8	男

## 【Bクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	中村 奏絵	福岡セーリングクラブ	3245	7	女
2	尾崎 剛輝	B&G松山海洋クラブ	3353	5	男
3	伊藤 音人	B&G時津海洋クラブ	3256	5	男
4	宮崎 剛允	北九州ジュニアヨットクラブ	3004	3	男
5	松岡 忠尚	B&G松山海洋クラブ	511	2	男
6	森田 莉央	B&G別府海洋クラブ	3059	4	女
7	久保田結花	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	2979	4	女
8	松原 空雅	B&Gハウステンボス町ジュニア海洋クラブ	3233	5	男
9	濱田 千愛	北九州ジュニアヨットクラブ	3330	5	女
10	佐藤 愛理	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	3240	4	女



# ● 文部科学大臣杯・国土交通省大臣杯 国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会2018

2018年8月5日 大分県別府北浜ヨットハーバー

## 【上級者】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	幸野 翔太	B & G別府海洋クラブ	3325	8	男
2	下石 雅樂	B & G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	3243	7	女
3	上田 瑞	葉山町セーリング協会	3359	7	男
4	尾崎 健人	葉山町セーリング協会	3371	7	男
5	市橋 愛生	B & G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	3267	8	女
6	肥後 滉佑	葉山町セーリング協会	3372	7	男
7	Valentine Kayrouz	New Zealand ニューゼーランド	NZ4545		男
8	チャーチ 海	葉山町セーリング協会	3168	6	男
9	Peter Jesson	Hong kong 香港	HKG 313		男
10	青山 若生	葉山町セーリング協会	3170	6	女
11	Tim Howse	New Zealand ニューゼーランド	NZ4624		男
12	中山 裕文	B & G高松海洋クラブ	3252	6	男
13	酒巻 佑成	B & G高松海洋クラブ	3251		男
14	Tsui Wai Chak	Hong kong 香港	HKG 330		男
15	中村 晃	清風学園 清風中学校ヨット部	3380	7	男
16	宮本あかり	夢の島ヨットクラブ	3345	7	女
17	旭 夏希	B & G高松海洋クラブ	3254	7	女
18	SEO JI WON	South Korea 韓国	KOR 448		女
19	Meg McAullay	Australia オーストラリア	AUS 765		女
20	岩下 稔	B & G別府海洋クラブ	3059	7	男

## 【初級者】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	内田 歩	葉山町セーリング協会	3006	4	男
2	尾崎 友太	葉山町セーリング協会	2968	4	男
3	森田 莉央	B & G別府海洋クラブ	3325	4	女
4	杉田 慧人	B & G高松海洋クラブ	10		男
5	齊藤 翼	B & G高松海洋クラブ	11		男
6	松浦 瑠	B & G高松海洋クラブ	09		男
7	田口 湊大	B & G別府海洋クラブ	3059		男
8	佐藤 直輝	葉山町セーリング協会	2892	4	男
9	上田 舞花	葉山町セーリング協会	2609	4	女
10	吉田 蓮	宜野湾はごろも海洋少年団	3032		男
11	齊脇 侑祐	B & G別府海洋クラブ	3071		男
12	赤嶺 一彰	宜野湾はごろも海洋少年団	3080		男
13	齊脇 侑祐	B & G別府海洋クラブ	3033		男
14	三浦 海珠	葉山町セーリング協会	2969	4	女
15	Samuel Roberto Talentino	B & G別府海洋クラブ	PHI 88	5	男
16	北岡 湮	葉山町セーリング協会	2766		女
17	平田 千乃	鳥取県ジュニアヨット協会	2296		女
18	平良 海咲	宜野湾はごろも海洋少年団	46		女

## ● 2018年 第41回 西日本オプティミスト級セーリング選手権大会

2018年8月17日～19日 広島観音マリーナ

### 【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	向井真太郎	広島セーリングスクール	3283	8	男
2	前田 月里	広島セーリングスクール	3344	8	女
3	幸野 翔太	B&G別府海洋クラブ	3325	8	男
4	上原 慎平	和歌山ジュニアヨットクラブ	3131	7	男
5	市橋 愛生	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	3267	8	女
6	吉岡 晴月	真野浜セーリングクラブ	3232	5	男
7	苗床隆之介	北九州ジュニアヨットクラブ	3364	7	男
8	山下真太郎	琵琶湖ジュニアヨットクラブ	3086	6	男
9	田中 花奈	鹿児島ジュニアヨットクラブ	3350	8	女
10	後藤うらら	広島セーリングスクール	3224	6	女

夏休み最後の週末に行われた西日本選手権。3日とも南からのシーブリーズが3～6m/s吹きました。レースはABクラスともハーバーの目の前で行われ、防波堤から多くのギャラリーが見守る中、レースが行われました。Aクラスは5レース、Bクラスは10レースが行われました。Aクラスは全日本選手権への出場枠を獲得する為の最後のレースらしく、緊張感あるレースとなりました。Bクラスは防波堤からの大きな声援もあり、和やかなレースとなりました。2019年も同じく広島での開催予定です。



## ● 2018 第36回 東日本オプティミスト級セーリング選手権大会

2018年8月24日～26日 静岡県立三ヶ日青年の家および沖海面

### 【Aクラス】

順位	選手名	フリート	セールNo.	学年	性別
1	菅澤虎士朗	江の島ヨットクラブジュニア	3288	6	男
2	重松 駿	夢の島ヨットクラブ	3176	8	男
3	葉山カトル	横浜ジュニアヨットクラブ	3382	8	女
4	出口 愛海	静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニアクラブ	3366	8	女
5	川前 優太	海陽海洋クラブ	3355	8	男
6	岩永 燎汰	海陽海洋クラブ	3226	7	男
7	宇田川涼太郎	横浜ジュニアヨットクラブ	3112	9	男
8	鷲尾 青	江の島ヨットクラブジュニア	3357	9	女
9	和知健太郎	江の島ヨットクラブジュニア	3201	8	男
10	蜂須賀啓介	なごやジュニアヨットクラブ	3316	8	男

当初台風の通過により開催が危ぶまれましたが搬入時に降られただけで午後からはいい風の中でレース実施されました。全日程を通じて浜名湖の安定した風の中予定通りの8レースを順調に消化することができました。Bレースもマン式スタートなど堤防のすぐそばで親子で楽しく参加できたレースだったと思います。また懇親会では浜名湖ジュニアのメンバーによる楽器の演奏でいつもとはまったく趣の違う姿に感動させられました。また三ヶ日青年の家のバックアップもあり期間中の陸上・会場生活をスムーズに過ごすことができ参加者の皆さんは真夏の暑い大会を満喫できたかと思います。







## 全日本OP級ヨット選手権大会 歴代チャンピオン 年表

回	西暦	期間	開催地	参加艇	総合			女子			小学生		
					1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位
1	1969 (S44)	4/1~2	江ノ島	1 4	黒川 徹也 (江ノ島)	須原 洋司 (江ノ島)	橋田 健一 (江ノ島)						
2	1970 (S45)	8/28~29	江ノ島	9 (低学年)	生野 裕治 (大分)	東田 義尚 (江ノ島)	渡辺由起子 (大分)						
				9 (高学年)	斎藤 正毅 (江ノ島)	生野 邦子 (大分)	木曾 康晴 (江ノ島)						
3	1971 (S46)	8/9~10	江ノ島	1 8	斎藤 正毅 (江ノ島)	小宮 亮 (江ノ島)	青木 智和 (江ノ島)						
4	1972 (S47)	8/17~18	江ノ島	1 8	榎本 敦司 (江ノ島)	小宮 亮 (江ノ島)	青木 智和 (江ノ島)						
5	1973 (S48)	8/16~17	江ノ島	1 6	青木 智和 (江ノ島)	榎本 敦司 (江ノ島)	浜尾太郎 (江ノ島)						
6	1974 (S49)	5/5~6	江ノ島	1 5	青木 智和 (江ノ島)	榎本 敦司 (江ノ島)	浜尾 太郎 (江ノ島)						
7	1975 (S50)	8/2~3	琵琶湖	3 4	西村 祐介 (江ノ島)	ルツルカ (江ノ島)	寺田 全輝 (琵琶湖)						
8	1976 (S51)	7/31~8/1	宮島	6 3	山村 洋之 (和歌山)	寺田 全輝 (琵琶湖)	岡 大 (千葉)						
9	1977 (S52)	8/4~5	函館	4 9	新谷章 (江ノ島)	石川 一也 (江ノ島)	服部 (島根)						
10	1978 (S53)	8/2~4	諏訪湖	5 3	石川 一也 (江ノ島)	曲田 拓史 (江ノ島)	亀井 功 (隠岐)	山村 千恵 (諏訪湖)	松田 明子 (琵琶湖)	加藤 聡子 (清水)			
11	1979 (S54)	8/11~14	紀伊田辺	5 3	山口 能孝 (神戸)	上野 友和 (南紀)	石川 一也 (江ノ島)						
12	1980 (S55)	12/26~29	佐島	4 3	強風の為中止			強風の為中止			強風の為中止		
13	1981 (S56)	7/26~29	江ノ島	5 9	松田 哲也 (琵琶湖)	高山 卓衛 (江ノ島)	秋田 大介 (琵琶湖)						
14	1982 (S57)	10/9~11	江ノ島	9 4	高山 卓衛 (江ノ島) 厨川 直樹 (葉山)	(同点2人 優勝)	成田 晶彦 (エスピー)				宮本 大介 (葉山)	西之園裕二 (琵琶湖)	大門 雅広 (琵琶湖)
15	1983 (S58)	10/8~10	琵琶湖	8 5	厨川 弘樹 (葉山)	三輪 牧人 (レッゴ)	大門 雅広 (琵琶湖)	厚木 文 (レッゴ)	熊谷 直美 (エスピー)	山田祐規子 (琵琶湖)	宮本 大介 (葉山)	浅井 紀博 (清水)	刑部 知周 (石川)
16	1984 (S59)	11/23~25	佐島	6 9	三輪 牧人 (レッゴ)	池田 新 (エスピー)	吉岡 卓 (琵琶湖)	静間 敦子 (葉山)	山田祐規子 (琵琶湖)	山元けやき (琵琶湖)	阪間 俊文 (江ノ島)	古市 英貴 (エスピー)	厚木 基 (レッゴ)
17	1985 (S60)	11/2~4	江ノ島	7 1	岩波 将輝 (横浜市民)	大門 雅広 (琵琶湖)	阪間 俊文 (江ノ島 Jr)	静間 敦子 (葉山)	山下 美香 (横浜)	谷本香菜子 (松島)	今野 巧 (葉山)	山下 美香 (横浜)	釜池 恒平 (宇和島)
18	1986 (S61)	10/31~11/3	和歌山	7 2	宮本 大介 (葉山)	釜池 恒平 (宇和島)	阪間 俊文 (江ノ島)	山下 美香 (横浜)	持丸由紀子 (葉山)	青山 久恵 (エスピー)	釜池 恒平 (宇和島)	川上賢一郎 (レッゴ)	山下うらら (横浜)
19	1987 (S62)	10/31~11/3	賀茂村	7 0	松永 卓也 (琵琶湖)	阪間 俊文 (江ノ島)	山下 美香 (横浜)	山下 美香 (横浜)	山田あずさ (横浜市民)	吉岡 朋子 (琵琶湖)	釜池 恒平 (宇和島)	藤井 洋暢 (横浜)	多賀康太郎 (琵琶湖)
20	1988 (S63)	9/23~27	横浜	7 6	戸田 茂樹 (千葉)	松本 健司 (横浜市民)	中村 和男 (横浜市民)	山下 美香 (横浜)	山下 麗 (横浜)	山田 真弓 (横浜市民)	松本 健司 (横浜市民)	岩波 俊光 (葉山)	関 康治 (横浜)
21	1989 (H 1)	11/23~26	江ノ島	8 1	関 康治 (横浜)	山田 基善 (琵琶湖)	松本 健司 (横浜市民)	山下 麗 (横浜)	菅谷 泰子 (中央区)	松浦 宏美 (清水)	西谷拓造 (江ノ島)	永山 桃子 (横浜)	松永 鉄也 (琵琶湖)
22	1990 (H 2)	10/10~12	琵琶湖	1 0 2	関 一人 (千葉)	中村 公紀 (琵琶湖)	松本 健司 (横浜市民)	永山 桃子 (横浜)	山田 真弓 (横浜市民)	望月 貞代 (清水)	松永 鉄也 (琵琶湖)	渡辺 哲雄 (夢の島)	荒川 海彦 (名古屋)
23	1991 (H 3)	11/1~4	シーボニア	1 0 0	山下 麗 (横浜)	佐藤 隆博 (江ノ島)	松本 健司 (横浜市民)	山下 麗 (横浜)	安岡 千夏 (江ノ島)	山田 真弓 (横浜市民)	松永 鉄也 (琵琶湖)	田窪 洋人 (江ノ島)	佐渡 忠俊 (t s s)

回	西暦	期間	開催地	参加艇	総 合			女子			小学生		
					1 位	2 位	3 位	1 位	2 位	3 位	1 位	2 位	3 位
24	1992 (H 4)	10/31~11/3	宮島	1 0 2	松永 鉄也 (琵琶湖)	荒川 海彦 (なごや)	渡辺 哲雄 (夢の島)	仲野 照美 (琵琶湖)	永山 桃子 (横浜)	三部ゆうき (江ノ島)	三部ゆうき (江ノ島)	田村 勇太 (t s s)	辻 宏樹 (鳥取)
25	1993 (H 5)	10/31~11/3	御前崎	1 0 7	渡辺 哲雄 (夢の島)	荒川 海彦 (なごや)	松永 鉄也 (琵琶湖)	三部ゆうき (江ノ島)	羽田 梨絵 (江ノ島)	近藤 愛 (葉山)	斉藤 祐介 (t s s)	佐渡 忠洋 (t s s)	水谷 謙太 (名古屋)
26	1994 (H 6)	11/3~6	横須賀	1 3 7	三部ゆうき (江ノ島)	田窪 洋人 (江ノ島)	松永 鉄也 (琵琶湖)	三部ゆうき (江ノ島)	鈴木恵美子 (江ノ島)	吉迫 由香 (t s s)	内田 諒 (横浜市民)	佐渡 忠洋 (t s s)	萩原 潤 (伊東)
27	1995 (H 7)	11/3~5	シーホーク	1 3 9	内田 諒 (横浜市民)	中田 俊輔 (横浜市民)	中川 剛 (琵琶湖)	久留原千尋 (琵琶湖)	岡田 風美 (葉山)	山田 梓 (横浜市民)	今井 信行 (琵琶湖)	751.7771 (江ノ島)	田中 俊介 (琵琶湖)
28	1996 (H 8)	11/1~4	蒲郡	1 3 5	斉藤 祐介 (t s s)	神谷 航路 (中央区)	佐渡 忠洋 (t s s)	近藤 詩織 (葉山BAJR)	平井 敦子 (江ノ島)	高橋 礼子 (びーち)	神谷 航路 (中央区)	今井 信行 (琵琶湖)	田中 俊介 (琵琶湖)
29	1997 (H 9)	10/31~11/3	浜名湖	1 4 0	神谷 航路 (中央区)	高橋 礼子 (びーち)	内田 諒 (横浜市民)	高橋 礼子 (びーち)	平井 敦子 (江ノ島)	白井 敦子 (びーち)	神谷 航路 (中央区)	野中 祐樹 (江ノ島)	西村 真洋 (琵琶湖)
30	1998 (H10)	10/31~11/3	琵琶湖	1 3 9	神谷 航路 (中央区)	今井 信行 (琵琶湖)	西村 真洋 (琵琶湖)	田畑和歌子 (兵庫県30)	高橋 礼子 (びーち)	疋田菜穂子 (琵琶湖)	近藤 康史 (葉山BAJR)	植田 順大 (びーち)	豊田 翔平 (兵庫県30)
31	1999 (H11)	10/30~11/2	江ノ島	1 4 0	神谷 航路 (中央区)	平井 敦子 (江ノ島)	鈴木美帆 (江ノ島)	平井 敦子 (江ノ島)	鈴木美帆 (江ノ島)	池本 碧 (江ノ島)	小宮 航 (江ノ島)	飯束潮吹 (江ノ島)	木内蓉子 (江ノ島)
32	2000 (H12)	11/9~11/12	江ノ島	1 4 0	神谷 航路 (中央区)	木内 蓉子 (江ノ島)	樋口 譲 (横浜市民)	木内 蓉子 (江ノ島)	鈴木美帆 (江ノ島)	池本 碧 (江ノ島)	川添 正浩 (江ノ島)	小栗 拓也 (びーち)	横田 敏一 (江ノ島)
33	2001 (H13)	11/2~ 11/5	和歌山	1 3 8	平井 恵子 (江の島)	鈴木 美帆 (江の島)	木内 蓉子 (江の島)	平井 恵子 (江の島)	鈴木 美帆 (江の島)	木内 蓉子 (江の島)	小宮 航 (江の島)	曾和 慎也 (琵琶湖)	横田 敏一 (江の島)
34	2002 (H14)	11/1~11/4	蒲郡 (韓国 5)	1 4 1	小宮 航 (江の島)	河合龍太郎 (静岡県連)	飯束潮吹 (江ノ島)	木内 蓉子 (江ノ島)	豊田 晃子 (別府)	斉藤 梨菜 (広島)	石原 帆高 (江の島)	磯崎 友也 (茨城)	鈴木明日美 (KMC 横浜)
35	2003 (H15)	10/23~26	福岡 (韓国 5)	1 3 9	石原 帆高 (江の島)	川添 正浩 (江ノ島)	小宮 航 (江の島)	後藤 沙季 (別府)	松下 結 (長崎)	山田 舞波 (別府)	熊川 均 (江の島)	小宮 悠 (江の島)	田中 航輝 (兵庫)
36	2004 (H16)	10/31~11/3	江の島	1 4 0	熊川 均 (江の島)	埼玉匠海 (江の島)	小宮 悠 (江の島)	小宮 悠 (江の島)	後藤沙季 (別府)	松下結 (長崎)	埼玉匠海 (江の島)	吉永紀仁 (玄海)	田中 航輝 (兵庫)
37	2005 (H17)	11/3~11/6	名取	1 3 6	小宮 悠 (江の島)	大日向喜咲 (横浜)	若林知世 (江の島)	小宮 悠 (江の島)	大日向喜咲 (横浜)	若林知世 (江の島)	大日向喜咲 (横浜)	若林知世 (江の島)	石原颯人 (江の島)
38	2006 (H18)	11/2~11/5	広島	1 4 0	小宮 悠 (江の島)	埼玉匠海 (江の島)	熊川 均 (江の島)	小宮 悠 (江の島)	長堀友香 (中央区)	高橋友海 (江の島)	森山慎太郎 (光)	渡部雄貴 (松山)	石原颯人 (江の島)
39	2007 (H19)	11/1~11/4	別府 (韓国 6)	1 4 6	脇坂 尊 (江の島)	若林知世 (江の島)	土居愛実 (江の島)	若林知世 (江の島)	土居愛実 (横浜)	新谷つむぎ (江の島)	岡田奎樹 (福岡)	深沢瑛里 (江の島)	佐藤宏樹 (江の島)
40	2008 (H20)	10/31~11/2	蒲郡 (韓国 2)	1 4 2	若林知世 (江の島)	岡田奎樹 (福岡)	脇坂 尊 (江の島)	若林知世 (江の島)	市川夏未 (夢の島)	新谷つむぎ (江の島)	埼玉成海 (江の島)	岸 裕花 (江の島)	横山南泉 (江の島)
41	2009 (H21)	10/31~11/3	江の島 (香港 5)	1 4 5	山本 一徹 (広島)	岡田圭樹 (福岡)	樋口 舵 (横浜市民)	市川夏未 (夢の島)	新谷つむぎ (江の島)	深沢瑛里 (江の島)	田中美紗樹 (兵庫)	埼玉成海 (江の島)	高宮 豪太 (江の島)
42	2010 (H22)	11/4~11/7	光 (SUI1,NZL1)	1 4 2	高宮豪太 (江ノ島)	高山大智 (B&G 別府)	菅野 翔 (かながわ)	岸 祐花 (湘南)	有山 夏子 (江の島)	川戸紅葉 (夢の島)	松尾虎太郎 (広島)	高山颯太 (KMC 横浜)	小村凜平 (玄海)
43	2011 (H23)	8/20~23	唐津 (NZL 1)	1 4 1	高竹義樹 (広島SS)	榎原健人 (藤沢市)	田中美紗樹 (B&G 兵庫)	田中美紗樹 (B&G 兵庫)	藤本優 (江の島)	須河内菜里 (藤沢市)	神谷仁 (浜名湖)	小木曾涼 (江の島)	尾道佳諭 (B&G 時津)
44	2012 (H24)	8/23~26	葉山	1 4 0	高山颯太 (KMC 横浜)	田中美紗樹 (B&G 兵庫)	高宮豪太 (江の島)	田中美紗樹 (B&G 兵庫)	辻アンナ (中央区)	宇田川真乃 (横浜)	花田義弘 (光)	桐井航汰 (江の島)	玉山義規 (丸玉)
45	2013 (H25)	11/1~4	蒲郡 (韓国 2)	1 4 1	小木曾涼 (江ノ島)	尾道佳諭 (B&G 時津)	玉山義規 (丸玉)	辻アンナ (中央区)	宇田川真乃 (横浜)	中村瑠夏 (横浜)	内貴航路朗 (横浜市民)	前田海陽 (広島)	佐々木 伸和 (B&G 兵庫)
46	2014 (H26)	11/1~3	広島	1 4 0	倉橋直暉 (海陽)	内貴航路朗 (横浜市民)	前田海陽 (広島)	抜井理紗 (B&G 兵庫)	三浦風紗 (浜名湖)	藤本 諒 (江の島)	服部陸太 (江の島)	須河内陽夏 (藤沢市)	池田海人 (江の島)
47	2015 (H27)	11/20~23	江の島	1 4 0	倉橋直暉 (海陽)	服部陸太 (江の島)	抜井理紗 (B&G 兵庫)	抜井理紗 (B&G 兵庫)	蓮 千鶴 (江の島)	パーキンス (江の島)	池田海人 (江の島)	磯辺杏心 (B&G 兵庫)	安永昂生 (B&G 福岡)
48	2016 (H28)	11/3~6	福岡 (韓国 4,ドイツ1)	1 4 5	抜井理紗 (B&G 兵庫)	大澤雄帆 (葉山)	服部陸太 (江の島)	抜井理紗 (B&G 兵庫)	北原頌子 (江の島)	青山知央 (葉山)	大澤雄帆 (葉山)	北原頌子 (江の島)	菅澤虎士朗 (江の島)
49	2017 (H29)	11/23~26	夢の島	1 4 0	嶋倉照晃 (真野浜)	和知健太郎 (江の島)	安永昂生 (福岡)	北原頌子 (江の島)	内田愛理 (清水)	前田月里 (広島)	岩永僚汰 (海陽)	苗床隆之介 (北九州)	菅澤虎士朗 (江の島)

\* 第 14 回大会より世界選手権大会の 1 次予選を兼ねる \* 第 15 回大会より女子、小学生の部にカップが出来る \* 第 48 回大会より予選・決勝方式を採用する

# RIB WORKS

RIB WORKS はリブボートの  
専門ディーラーです。



**XS** RIBS  
RIB WORKS Special Edition

新艇販売

レンタル RIB

チューブ張替・修理

中古 RIB

ノースセールは未来のオリンピックセーラーを応援しています。  
ともにオリンピックの表彰台を目指しましょう！



GO BEYOND™

2018 OP World Championship - Girls 優勝  
Maria Perello - ESP  
OP World Winning Sail R2 - NS Japan Design



OP WINNING DESIGN SAILS

R1 R2 R4 R5 PL3

YOKOHAMA LOFT 045-770-5666  
KANSAI LOFT 0798-26-7771

[www.jp.northsails.com](http://www.jp.northsails.com)

NORTH SAILS





**Quality products !**  
Performance Sailcraft Japan

パフォーマンスセイルクラフトジャパン(株)  
〒252-1114 神奈川県綾瀬市上土棚南3-13-31  
TEL 0467-76-1051 FAX 0467-76-1052



**DESIGNED FOR FUTURE CHAMPIONS**



**SAILFAST**

神奈川県三浦郡葉山町長柄 888-1 TEL 046-876-2889 FAX 046-876-2899  
E-mail info@sailfast.jp www.sailfast.jp



# HIGH SCHOOL PASS

## すべての高校生 無料利用OK!!

- ワークアウトしたいのに… 学校や部活に施設がない…
- 訳あって学校は嫌だけど… 心身共に健康でありたい…
- 自分のカラダとココロに、しっかりと向きあってみたい…

部活や勉強や、好きなコトに一生懸命がんばっている高校生たち。  
まだ夢や希望、自分自身を見つけられずに探している高校生たち。  
それぞれの立場で、それぞれの人生と向き合っている高校生たち。  
子どもでもなく、大人でもない15歳～18歳までのこの時期にこそ、  
ヘルシアプレイスが必要なのでは?と、わたしたちは考えました。

エニタイムは、ヘルシアプレイスを必要とする高校生を応援します。

エニタイム高校生無料



# ANYTIME FITNESS®

*Get to a healthier place.®*

家の近くや、学校の近く…通いやすいエニタイムをチェックしたら、保護者の方と一緒に見学! 全国約400店舗のエニタイムで絶賛受付中!

登録条件: ●親権者がエニタイムメンバーであること ●15歳以上18歳以下であること(高校在学期間) 利用上の注意点: ●利用できるのは、スタッフアワー内のみとします(深夜早期利用など利用不可) ●利用でき  
るのは、親権者の登録店舗のみとします ●親権者が退会、移籍した場合には、利用不可となります ●利用ルール、マナーなど一般会員同様の対応となり、違反等があった場合には、登録を抹消する場合があります

詳しくは各店舗スタッフまでお問い合わせいただくか、  
ANYTIME FITNESSホームページをご覧ください。

みんなの一生懸命 応援します

yashima

Marine-Service



URL : <http://yashima-marine.jp/>

E-Mail [yashima@yashima-marine.jp](mailto:yashima@yashima-marine.jp)

PHONE : 090-7505-4923

